

## 1.4 大学図書館の課題と国立大学図書館協議会の活動概要

国立大学図書館協議会事務局長  
東京大学附属図書館事務部長  
田村潤二

我が国の社会情勢は急激に変動しており、大学は様々な改革を求められている。大学の教育・研究を支援すべき図書館もまた大学の改革とともに歩み、その中で自分の役割を再確認しながら、そのあり方を考えなければならない。一方、資料の量的増大と多様化、情報通信技術の急速な進展等々、メディアの様相の急展開への対応も急がなくてはならない。

このような状況の中、大学図書館は多くの困難な課題に直面するが、各図書館の孤立した単独の活動だけで解決できる問題ばかりでなく、相互の連携された活動及び協力関係がなければ解決できないことも多い。

国立大学図書館協議会、私立大学図書館協会、公立大学図書館協会等の大学図書館団体は、それぞれの参加館における相互の連携・協力と同時に、各団体間における連携・協力をも通じて様々な問題の解決を模索してきたが、今後その役割はますます重要となってくるであろう。

今回、主として国立大学図書館協議会の活動の諸相を紹介し、そのことを通じて大学図書館の直面している諸課題を具体的に認識する。

### I 大学図書館の現状

### II 大学図書館の課題

#### 1. 大学改革の中の図書館

- 大学院重点化
- 学習環境（学生用図書等）
- 図書館の位置
- 財政基盤
- 組織再編

#### 2. 情報革命の中の図書館

- 学術情報デジタルコンテンツ
- 業務システム
- 学内情報関連機関との連携

#### 3. 社会の中の図書館

- 地域社会への貢献
- 著作権問題への対応
- 行政改革
- 独立行政法人

#### 4. その他

- 資料の保存・共同利用体制
- 図書館館 ILL、国際 ILL

### III 国立大学図書館協議会の活動

#### 1. 大学図書館関係団体

- 1) 国立大学図書館協議会、公立大学図書館協議会、私立大学図書館協議会
- 2) 国公立大学図書館協力委員会
- 3) 日本医学図書館協会、日本薬学図書館協議会

#### 2. 国立大学図書館協議会の概要

- 1) 目的と組織
- 2) 活動の歴史
- 3) 現在の活動

##### 特別委員会

- ・著作権特別委員会（平成10年6月）
- ・図書館電子化システム特別委員会（平成10年6月）
- ・国際情報アクセス特別委員会
- ・情報資源共用・保存特別委員会

##### 調査研究班

##### 電子ジャーナルタスクフォース

##### 国立大学法人格取得問題に関する懇談会

##### ICタグに関する懇談会

##### 文部省に対する要望

##### 国立大学図書館協議会賞

##### 海外派遣事業

##### シンポジウム

#### 3. 国公立大学図書館協力委員会の活動

- 1) 大学図書館協力ニュース
- 2) 大学図書館研究
- 3) 日本複写権センターとの対応
- 4) ILL包括規約

#### 4. その他